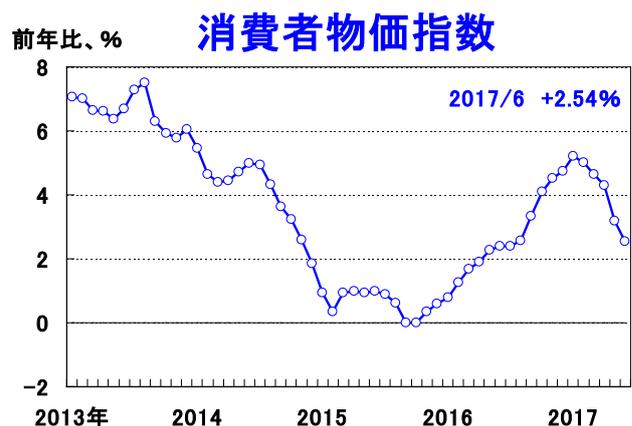
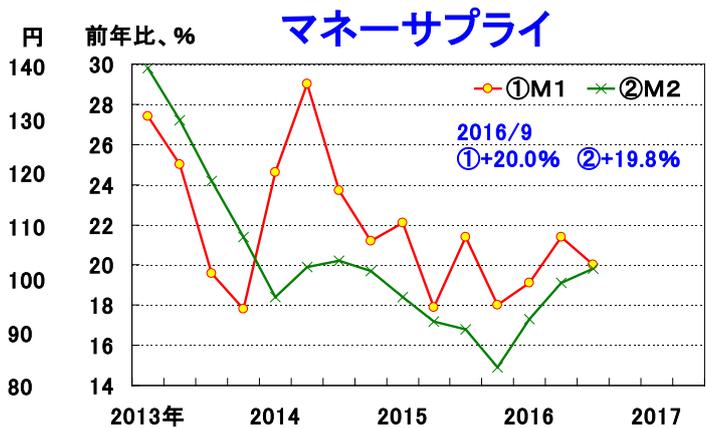
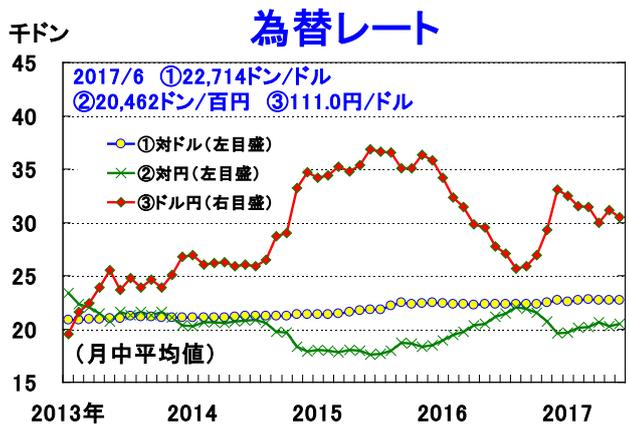
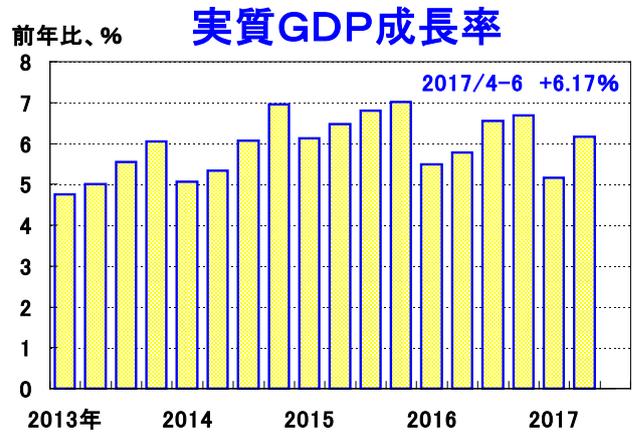
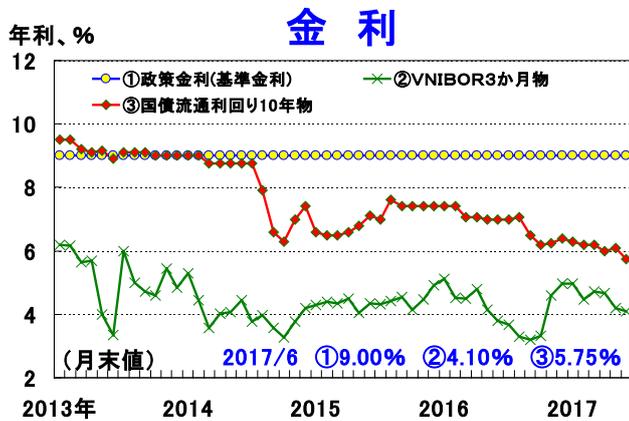


# グラフで見るベトナム経済 2017年7月号(No. 90)

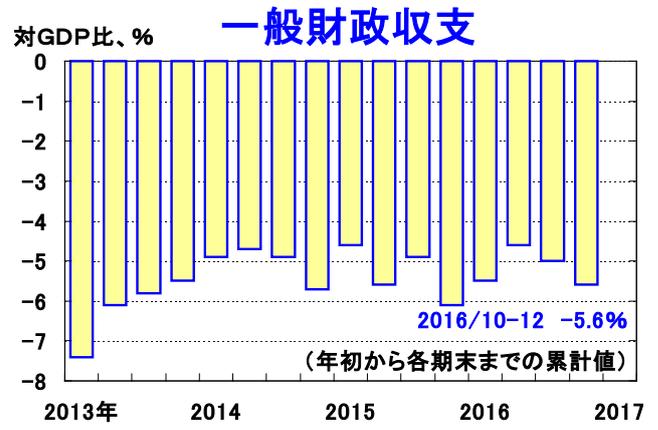
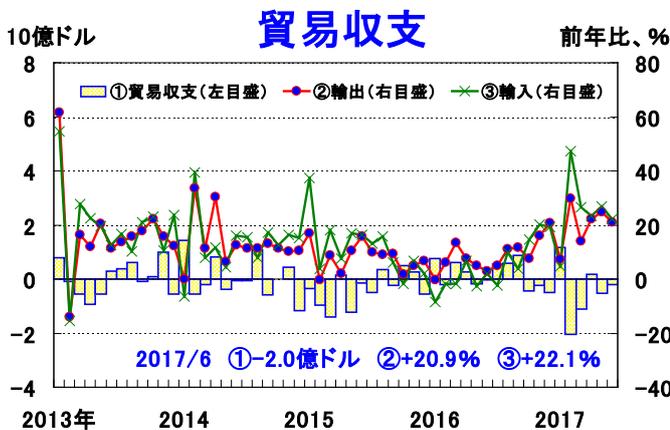
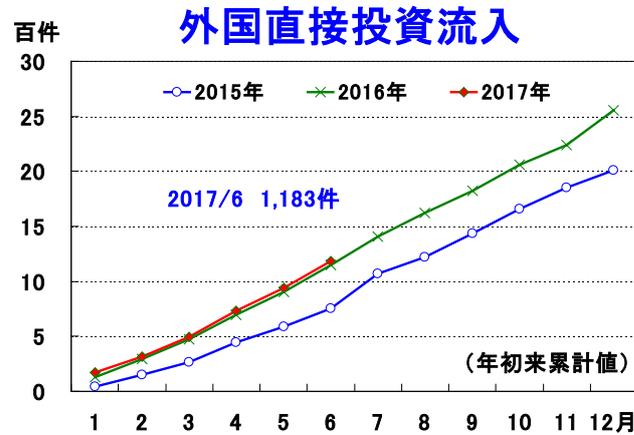
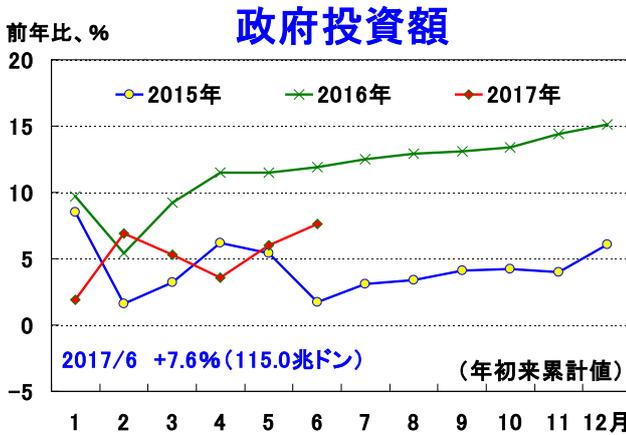
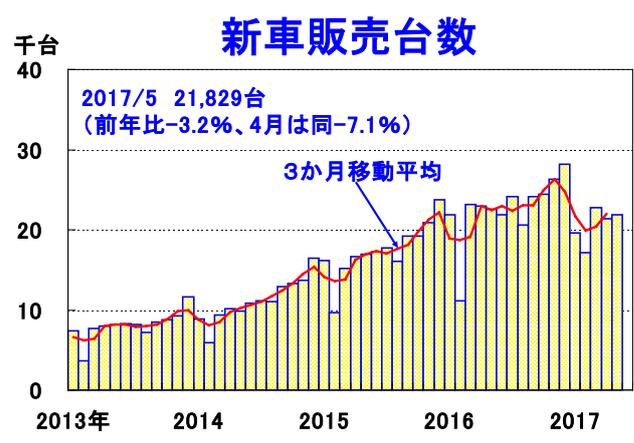
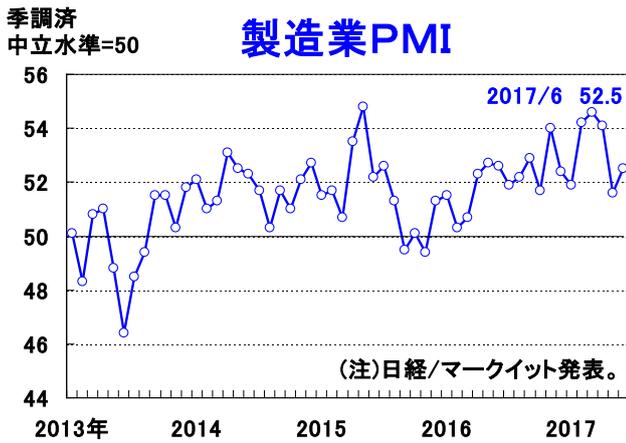
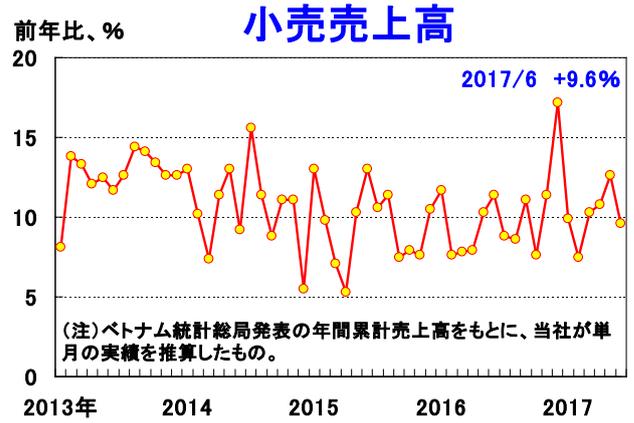
ベトナム景気は緩やかな回復基調にある。2017年4～6月期の実質GDP(国内総生産)は前年比+6.17%と、第2四半期としては過去5年間で2番目の高い伸びとなった。一方、同期内の月次指標をみると、6月の輸出は前年比+20.9%と高い伸びで推移し、鉱工業生産も同+8.6%と加速した。また同月の製造業PMIも52.5と19か月連続で中立水準の50を上回り、前月の51.6から上向いている。ただ、家計部門では、個人消費に陰りがみられる。すなわち、5月の新車販売台数は3か月連続で減少し、6月の小売売上高も4か月ぶりに減速した。



**【今月のトピック:南北高速道路の建設が実現へ】** ベトナム政府は首都ハノイと南部の最大都市であるホーチミンを結ぶ南北高速道路の建設計画を承認した。総延長は1,372キロにおよび、事業費は312兆ドン(138億ドル)の巨大プロジェクトが実現に向かうことになる。現在の計画では、2030年までに全面開通させる予定である。ベトナム経済の弱点であった輸送インフラの弱さの解消に向かうことにより、経済活性化がはかられることが期待される。一方、道路建設の当初の半分だけで2,100世帯の立ち退きが必要になる見込みであり、補償問題を円滑に解決することが重要課題となろう。

(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。